

令和6年度入学料免除・納付猶予申請要項（私費外国人留学生用）

- 免除申請にあたっては、本要項を熟読し、十分理解した上で、事実に基づき記入してください。
- 「入学料免除」申請は、必ずしも「全額免除」が許可されるとは限りません。「入学料免除」の「不許可」、「半額免除」の通知を受けた際に、すぐに入学料を納めることが困難な場合は、「入学料納付猶予」を申請することで入学料納付を2月末日まで猶予することが許可される場合があります。免除申請者で納付猶予が必要な場合は、「入学料免除願」を提出する際に「入学料納付猶予願」も併せて提出してください。（審査の結果、ともに不許可となることがあります。）

提出期限を過ぎたものは一切受付しません。また、免除担当から期限を付して請求した不足書類を期限までに提出しない場合は選考から除外します。

1. 免除・納付猶予対象者（申請者）

【免除】

- (1) 経済的理由によって入学料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が困難と認められる場合
- (3) 前号に準ずる場合であって、学長が相当と認める理由がある場合

【猶予】

- (1) 経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、学部及び研究科等に入学する者の学資負担者が死亡し、又は学部及び研究科等に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

2. 選考方法及び免除の種類

- (1) 入学料免除の選考は、富山大学教育・学生支援機構学生支援センターにおいて、富山大学入学料免除者選考基準に基づき、学力基準と家計基準のいずれにも該当する者から選考されます。
- (2) 免除許可者は、納付すべき入学料額の全額若しくは半額が免除されます。

3. 申請の流れ

本学ウェブサイトより申請書類をダウンロード

- 必要な書類を揃える → 期日厳守の上(角形A4号の封筒に入れ)大学へ提出 → 申請受付
→ 不備・不足書類の連絡および再提出 → 選考・決定 → 申請者に選考結果を通知(11月中旬頃を予定) → (一部免除者・不許可者のみ)決定月の月末(納付猶予許可者は2月末)までに入学料を納付

4. 提出期限

令和6年10月2日(水) 17:00まで

- ※郵送の場合は、提出期限日以前の日本国内の郵便局の消印のある特定記録郵便のみ受付します。
- ※郵送の際は角形A4号の封筒の表に「入学料免除申請書類在中」と記入し、裏面には申請者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

5. 提出先

※以下の宛先に郵送してください。学生支援課（五福キャンパス）での窓口提出も可
〒 930-8555 富山市五福 3190
富山大学学務部学生支援課授業料免除担当

6. 選考方法・基準について

選考方法は、学力基準、家計基準のいずれにも該当する者から、予算の範囲内で選考します。基準を満たしていても免除にならない場合があります。

学力基準については、入学試験合格をもって適格とします。

家計基準については、日本人学生および私費外国人留学生によって基準が異なるため、本学ウェブサイトの授業料・入学料免除のページの「家計基準について」の項目を参照してください。

<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/financial-support/exemption/>

7. 申請書類の記入方法等について

申請書類は「送付書」を参考の上、不足がないように提出してください。

また、申請書類の記入は、手書きの場合は消えないペンを使用してください。

【独立生計者として申請する場合】

原則、大学院に在籍している学生で次の要件に全て該当する場合のみ、独立生計者として申請することができます。

- ・父母等と別居しており、仕送り等の継続的な援助を受けていない
- ・所得税法上及び健康保険上、父母等の扶養親族ではない
- ・本人（または配偶者）の収入や奨学金のみで生計を立てている

8. 注意事項

- (1) 入学料免除・納付猶予の許可の決定までは、入学料を納付しないでください。
- (2) 提出された書類は返却、閲覧、貸出に応じないので提出前に自分でコピーしてください。また、本学から免除に関して連絡をすることがあるので、**免除担当の連絡先を登録し、担当からの電話には必ず対応してください。連絡が取れない場合は、選考から除外します。**
- (3) 記入した字句等を修正する場合は、修正液（テープ）等を使用せず、必ず訂正箇所にも二重線を引き、訂正印を押してください。※消えないボールペンで記入してください。
- (4) **提出時に学籍番号が不明な場合は、学籍番号記入欄は全て空欄で提出してください。**なお、受験番号の記入を指示している部分は、忘れずに記入してください。
- (5) 入学料免除・納付猶予申請を辞退する場合は、「辞退届」を記入のうえ、レターパックライトとともに免除担当窓口提出してください。
- (6) 申請書類等に虚偽の事実が判明した場合は申請無効とし、富山大学授業料免除及び徴収猶予に関する内規第17条により免除を取り消します。
- (7) 提出された書類に含まれる個人情報は、入学料免除者の選考及び調査並びに学生支援業務以外には使用しません。

【免除担当窓口】

学務部学生支援課 TEL 076-445-6087

※所属キャンパスを問わず、学生支援課から連絡する場合があります。

免除

入学料免除願の記入例

令和 年 月 日

入学手続の日を記入すること

富山大学長 殿

学生本人・学資負担者のそれぞれが記入すること。

住所については、下宿先が決まっていない場合は現住所で可。

私費外国人留学生および独立生計者は学資負担者欄に「本人」を記入すること。

本	令和 6 年 10 月入学	
	工学部 研究科 学環	学専攻 ○○○○ プログラム
人	学籍番号	記入しな
	住所(〒 930 - 0887) (下宿等) 富山市五福1区〇-〇-〇 富山ハイツ〇号	
	フリガナ 氏名	タテ ヤマ イチ ロー 立 山 一 郎 (自署)
学資負担者	住所(〒 ○〇〇 - △△△△) 石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇子	
	フリガナ 氏名	タテ ヤマ タ ロー 立 山 太 郎 (自署)
	本人との続柄 父	

入学料免除願

下記により令和6年度入学料の免除を受けたいので、学資負担者連署の上お願いします。

記

I 金 282,000 円也

II 理由(具体的かつ詳細に記入すること)

入学料免除を申請するに至った家庭事情や説明を記入。(100文字以上, 200文字以内)

学生本人が記入すること。

入学料免除願は学生本人からの提出書類です。学資負担者の立場で記入してある場合は受理せず、提出書類を返却します。

※白紙の場合は書類不備とします。

猶予

入学料納付猶予願の記入例

令和 年 月 日

入学手続の日を記入すること

富山大学長 殿

本	令和 6 年 10 月入学	
	工学部 研究科 学環	学 科 専 攻 プログラム ○○○○
人	学籍番号	記 入 し な い
	住所(〒 930 - 0887) (下宿等) 富山市五福1区〇 - 〇 - 〇 富山ハイツ〇号	
	フリガナ 氏名	タテ ヤマ イチ ロー 立 山 一 郎 (自署)
学 資 負 担 者	住所(〒 〇〇〇 - △△△△) 石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号	
	フリガナ 氏名	タテ ヤマ タ ロー 立 山 太 郎 (自署)
	本人との続柄 父	

学生本人・学資負担者のそれぞれが記入すること。

住所については、下宿先が決まっていない場合は現住所で可。

私費外国人留学生および独立生計者は学資負担者欄に「本人」を記入すること。

入学料納付猶予願

下記により令和6年度入学料の延納を受けたいので、学資負担者連署の上お願いします。

記

I 延納方法 令和7年2月28日まで延納
(又は本学が指定する日のうち、いずれか早い日)

II 理由(具体的かつ詳細に記入すること)

入学料納付猶予を申請するに至った家庭事情や説明を記入。(100文字以上, 200文字以内)

入学料納付猶予願は学生本人からの提出書類です。学資負担者の立場で記入してある場合は受理せず、提出書類を返却します。

※白紙の場合は書類不備とします。

学生本人が記入すること。

家庭調書の記入例

家庭調書

※申請者（学生）本人が記入

① 所属 学部 研究科 / 学環 教育学部 学科 専攻 学籍番号

フリガナ 通学区分 自宅・自宅外

② 氏名 令和6年10月時点の現住所を記入 ※転居した場合は申し出ること

③ 住所 本人住所等 連絡先 責任担者 TEL () -

過去の授業料免除状況

項目	免除結果等
0年度前期	特・特・特 / 特・特・特
0年度後期	特・特・特 / 特・特・特

大学認定(記入)欄

世帯人員	人
独立生計者	有・無
生活保護世帯	有・無
非課税世帯	有・無
ひとり親	有・無
多子世帯	有・無
Jasso給付	有・無
区分	I・II・III・外・旧

私費外国人留学生は、本国在住の家族等について記入不要

アルバイトの年額および令和5年4月以降の給付奨学金の年額を記入

15歳以上の無職者（就学者を除く）は、「無職申出書」を提出

高校生以上は在学証明書を提出
ただし、国立学校在学者は「在学状況等証明書」を提出

令和5年1月以降、家族が受け取ったものを記入し、証明できる書類を提出
(例) 確定申告書、退職所得の源泉徴収票、保険金の支払通知書 など

最新の保護決定(変更)通知の写を提出

「母子・父子確認書」を提出

障害者手帳の写または障害者年金の通知書の写を提出

申請時において6ヶ月以上の療養期間が対象(控除申請は任意)

「り災証明書」を提出
事前に担当窓口にご相談すること

領収書の写しを添付
(控除申請は任意であり、1年分が限度)

⑭⑮は、控除申請用紙の提出がない場合、控除しません

得に関する事項

令和6年10月時点の学年を記入

続柄	氏名	年齢	職業	所得種別	就職年月	給与収入(年額)	給与以外の所得(年額)
本人	立山 一郎	22	立山大学 第1学年 (〇〇財団)奨学金	給与・奨学金	〇.1.1以前	456千円	360千円
父	立山 太郎	50	自営業	営業	〇.1.2以降	1,484千円	
母	立山 花子	50	パート			1,000千円	
祖母	立山 春子	80	無職	老齢基礎厚生年金	年金		1,760千円
×妹	就職のため別居立山 ナツ	18	会社員				

参考資料や送付書を参照

続柄	氏名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	国立学校就学者のみ記入		申請者の配偶者に所得がある場合のみ記入		就学者控除
						前年度控除結果	授業料	勤務先名	給与収入	
弟	立山 二郎	19	国立公立私立 〇〇大学	2	自宅 自宅外	なし / 3半免全免	なし / 3半免全免	535千円		
			国立公立私立		自宅 自宅外	なし / 3半免全免	なし / 3半免全免			
			国立公立私立		自宅 自宅外	なし / 3半免全免	なし / 3半免全免			
			国立公立私立		自宅 自宅外	なし / 3半免全免	なし / 3半免全免			

臨時所得 氏名(立山 春子) 本人との続柄(祖母) 支払金額(1,000千円) 算入する 算入しない

退職金・保険金・その他() 支払年月日 令和〇年11月1日

生活保護世帯 生活保護費支給証に記載の被保護者氏名() 世帯人員(名)

⑩ 主たる家計支持者無職・失業 無職・失業の年月 生活費の出所()

特別控除に関する事項

⑪ 母子・父子世帯 〇生別(平成・令和 年 月) 〇死別(平成・令和 年 月)(該当する〇に✓をつけること。) 該当・非該当

⑫ 障害者 氏名() 本人との続柄() 〇心身障害 〇原爆被爆 〇心身障害 〇原爆被爆 人

長期療養者 氏名() 本人との続柄() 療養期間(年 月~) 療養費 千円 千円

家計支持者別居 単身赴任等期間(年 月~) 特別に支出している経費 千円 千円

⑬ 風水害等の災害 災害の内容() 千円 千円

令和5年分確定申告書Bの例

令和5年分確定申告書Bの例

令和〇〇年分の所得税及び復興特別所得税の申告書B

第一表

収入等	給与	17,522,800
収入等	公的年金等	2,028,000
収入等	一時所得	1,300,000
所得金額	合計	58,425,466

第二表

所得の内訳	収入金額	必要経費等	差引金額
給与	17,522,800		
年金	2,028,000		
一時	1,300,000	300,000	1,000,000

「家庭調書」(抜粋)

職業	勤務先等	所得種別	就職年月	給与収入	給与以外の所得
	〇〇〇株式会社	給与	○	1752千円	千円
	〇〇〇年金	年金		2028	
	〇〇〇営業	営業			1484
	〇〇〇不動産	不動産			200

令和〇〇年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

所得から差し引かれる金額に関する事項

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類 収入金額

給与 〇〇株式会社 17,522,800

年金 〇〇厚生年金 2,028,000

一時 〇〇〇保険 1,300,000

所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額の合計

所得から差し引かれる金額に関する事項

所得の種類 収入金額 必要経費等 差引金額

一時 〇〇〇保険 1,300,000 300,000 1,000,000

職業事業者に係る事項

職業事業者に係る氏名	個人番号	勤続	生年月日	就業月数・程度	就業の内訳	専従者給与(月給)
〇〇〇	※個人番号は複写されません	妻	12月	1,200,000		

住民税・事業税に関する事項

住民税の氏名	個人番号	勤続	生年月日	別荘の所有の有無	別荘税額
〇〇〇	※個人番号は複写されません				

「家庭調書」に全員を記入
・10月1日時点で「別生計」になる者は、健康保険証(写)と住民票を提出

・受付印が押印されていること

・e-Taxにより申請した場合は受付番号が印字されたページも提出すること

・第三表以降もあれば提出

・源泉徴収票も併せて提出

アルバイト・奨学金状況調の記入例

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

アルバイト・奨学金状況調

記入日

令和 年 月 日

所 属	学 年	学 籍 番 号
学部 研究科 / 学環 教育部		記入しない

学生氏名 _____

該当する□に✓をつけること。

1. アルバイト

アルバイトの状況

アルバイトをしている 記入日現在で継続している場合記入。

令和5年1月1日以前に開始→令和5年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。

令和5年1月2日以降に開始→下記にアルバイト先で証明を受けること。

富山大学でTAまたはRAを実施している →アルバイト先の証明は不要。

アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期 令和 5 年 5 月～

支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額) **38,000円** × 12ヶ月 = 年間支給(見込) 額 **456,000円**

この年額を家庭調書の「給与収入」欄に記入。

アルバイトの期間及び金額について証明します。 令和〇〇年 〇 月 〇 日

住所 富山県富山市〇〇町〇〇〇〇

社名 (株)〇〇〇〇 証明担当者 〇 〇 〇 〇 (印)

TEL (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇 **必ず証明印をもらう。**

2. 令和5年4月以降における奨学金の状況（貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。）

<input checked="" type="checkbox"/> 奨学金を受給している	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始 期	終 期
返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	<input checked="" type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	51,000円	R 4 年 4 月	R 8 年 3 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input checked="" type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input checked="" type="checkbox"/> 給与	〇〇財団 (留学生のみ記入) 富山県国際交流 ・ 学習奨励費	30,000円	R 4 年 4 月	R 8 年 3 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を現在受給も申請もしていない (理由 _____)					

3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	30,000円	食 費	45,000円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	52,000円
アルバイト	38,000円	交通費	1,000円
奨学金(日本学生支援機構)	51,000円	学用品	5,000円
奨学金(〇〇財団)	30,000円	書籍代	2,000円
その他()	円	その他(医療費等)	44,000円
合 計	149,000円	合 計	149,000円

※収入合計と支出合計は金額が一致するよう記入。自宅通学の場合も記入必要。

事情説明書の記入例

富山大学入学科免除添付書類

令和○年度入学科免除申請にかかる事情説明書（私費外国人留学生用）					
令和 ○ 年度入学	フリガナ	○○ ○○			
○ ○ 学部 ○ ○ 研究科 ○ ○ 学環	アルファベット	○○○ ○○○			
学籍番号	氏名	○ ○○			
記入しない	生年月日	○○○○年 ○月 ○○日生 (○○歳)			
国 地 域	中国	本人住所 〒 930 - 0887 富山市五福1区○-○ 富山ハイツ○○号室 TEL 076 (445) 1234 携帯 090 - 1234 - 5678			
令和6年1月1日時点で、日本に入国していましたか。 (一時帰国は除く)		はい いいえ (いずれかを○で囲んでください)			
本国家族からの送金が困難な事情や日本へ入国時と現在で状況がどのように変わってきているかを具体的に記入してください。 免除願と別の内容で					
本国家族から送金が困難な事情					
父は定年になり年間○万円の年金生活、工場に勤務する母の年収は年間○万円であり、兄は専門学校へ通学しているので、親から私に送金することはできません。					
日本へ来た時と現在でどう状況が変わってきているか					
留学前、私は会社で働いて来日する経費を貯金していたのですが、来日1年目の東京での語学研修でほとんど使ってしまいました。奨学金とアルバイトが生活費の大部分ですが、時間的制約から、アルバイトはこれ以上できません。奨学金も2つもらい、これ以上は望めません。					
所見・推薦書	以下のとおり推薦します。				
	学業への取り組み態度、人物評価、家計状況等を記入してください。				
	所見・推薦書の欄については、助言教員・指導教員に記入依頼してください。				
所属学部等		職名		教員氏名	印